

## 令和4年度新臨技中越支部フォーラム開催報告

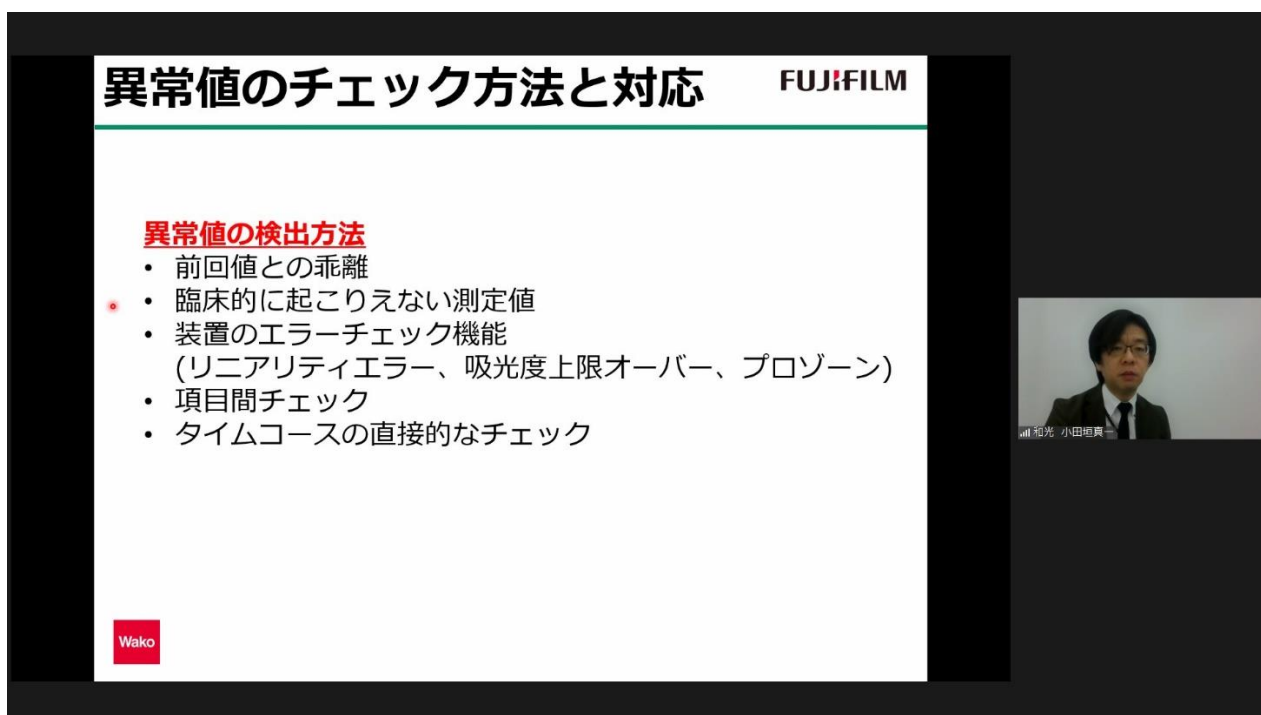
8月20日（土）、例年開催している中越支部フォーラムをWebにて開催いたしましたのでご報告いたします。

当初、定員を設けたうえで現地開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染者の増加をうけ、開催直前でのZOOMによるWeb開催へと変更になり、参加された方々には大変ご迷惑をおかけしました。研修会参加者は、20名と多くはありませんでしたが、中身の濃い有意義な会となりました。

【講演1】では、富士フィルム和光純薬株式会社 小田垣真一先生から「検査に潜むピットフォールをタイムコースから紐解く」と題してご講演いただきました。

生化学検査において、測定結果に対して「異常」と気づくきっかけとして「前回値との乖離」「臨床的に起こりえない測定値」「装置のエラーチェック機能」等があり、異常値自体を拾うことは可能ですが、それに対してどのように対応するのが適切かを判断するためには、その異常の原因を推測する必要があります。要因としては、ヒト、環境、検体、装置、試薬等さまざまな事象がありますが、今回の講演では試薬側での解析・対応が可能なピットフォールの要因について、測定中の反応過程であるタイムコースを解析することで、異常反応の原因を推測し次の解析や対応につなげることが可能になるというお話しでした。具体的な事例を挙げていただき有効な対応方法として、「単独再測定」「希釈再測定」「別装置での測定（外注）」などで対処して正しい測定結果を臨床へ返すことが重要となります。

先生には、たくさんのスライドを用意していただき、大変わかりやすくご講演いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



**異常値のチェック方法と対応** FUJIFILM

**異常値の検出方法**

- 前回値との乖離
- 臨床的に起こりえない測定値
- 装置のエラーチェック機能  
(リニアリティエラー、吸光度上限オーバー、プロゾーン)
- 項目間チェック
- タイムコースの直接的なチェック

和光 小田垣真一

Wako

【講演2】では、新潟県臨床検査技師会 桑原喜久男副会長より「臨床検査技師会の役割と活動について」と題してご講演いただきました。

今、タスク・シフト/シェアを進めている中、臨床検査技師として業務拡大していくことで「臨床現場への参加」「多職種とのつながり」「チーム医療への貢献」が重要となってきています。臨床検査技師の地位向上のためにも、皆さんの積極的な協力・参加が必要です。また、コロナ禍での技師会現地開催や公益事業への参加協力など、まだまだむずかしい面もありますが、活発な技師会運営を行うため引き続き会員各位よりご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



令和4年度中越支部フォーラム  
令和4年8月20日

## 臨床検査技師会の役割と活動

一般社団法人新潟県臨床検査技師会  
副会長 桑原 喜久男

<今後の研修会等 開催予定>

令和4年12月10日(土) 「令和4年度中越支部ふれあい研修会」(Web開催)

【テーマ】C型肝炎ウイルスについて(予定)

- ①検査結果の告知漏れ対策について～現場での実際
- ②C型肝炎の治療に関する話

令和5年2月下旬～3月上旬 「令和4年度中越支部講演会・通常総会」

<連絡・問合せ先>

一般社団法人新潟県臨床検査技師会中越支部(広報)

所属施設: 柏崎総合医療センター 検査科

所在地: 945-8535 柏崎市北半田2丁目11番3号

電話番号: 0257-23-2165

内線: 420

(文責: 長谷川 香織)